

平成28年度新里紫桐会在宅介護支援センター事業報告

1 事業の概要

地域における福祉の向上を図るため、要介護高齢者および要援護のおそれがある高齢者やその家族を対象とした要援護高齢者についての実態把握を行った。また、対象となる高齢者とその家族からの相談へ対応し、必要とされる保健・福祉サービスが適切に受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整をもって支援を行った。

2 事業の実施状況

(1) 総合相談支援事業

- ① 来所・訪問等による初期相談支援のほか、必要に応じ継続的相談支援を行い、相談記録を整備した。
- ② 相談受付票等を用い、相談記録を整備した。

(2) 日常の連絡調整

- ① 利用者、サービス提供事業者等の連絡に随時対応した。
- ② 必要に応じ、宮古市地域包括支援センターに報告を行った。

(3) 実態把握調査

- ① 要援護高齢者等の基礎的事項、サービス利用状況、相談内容等の実態把握を行った。
- ② 当該年度初回相談時、状況変化があった場合に実施した。
(要介護認定者についても毎年1回は実態把握調査を行った。)

(4) 巡回相談会等の開催

- ① 地域に出向いて気軽に相談できる場を設定し、地域に潜在している相談ごとを掘り起こし相談支援を行った。
- ② 多くの市民が参加できるよう地域のニーズに合わせて開催するよう工夫した。
- ③ 在宅介護支援センターが行う他の事業と併せての開催や、介護者同士の情報交換の場としての開催となるよう工夫した。
- ④ 担当地区内に被災者が居住している場合には、被災者の参加にも配慮して開催した。

(5) その他総合相談支援業務の実施に係る業務

- ① 福祉用具および介護用品の展示や紹介を行った。
- ② 本人・家族・近隣住民・地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受けて的確な状況把握を行い、専門的または緊急の対応が必要かどうか判断し、専門的・継続的な関与または緊急の対応が必要と判断した場合には詳細な情報収集を行い、課題を明確にし、個別の支援、対策を行った。

(6) 配食サービス

- ① 調理が困難な独居及び高齢世帯等の在宅高齢者もしくは心身の障害か傷病者等に対して、食事を提供するとともに、当該利用者の安否確認を行うことにより地域社会の中で引き続き生活して行くことを支援し、高齢者の保健福祉の向上を図るよう努めた。
- ② 衛生管理に十分注意を払い、事故のないよう努めた。

3 利用者の状況

(1) 相談件数

相談経路別件数			相談方法別件数			
家	族	361	電	話	698	
本	人	428	訪	問	567	
関	係	機	来	所	85	
民	生	委	文	書	4	
そ	の	他	そ	の	他	31
	計	1,385		計	1,385	

(2) 相談内容別件数

介護に関する相談	3	状況把握	590		
医療に関する相談	54	諸制度に関する相談	15		
介護保険に関する相談	746	苦情に関する相談	0		
高齢福祉サービスに関する相談	22	健康づくり保健事業に関する相談	4		
施設入所に関する相談	17	財産・土地住宅に関する事	1		
福祉用具に関する相談	8	そ	の	他	3
住宅改修に関する相談	7		計	1,470	

(3) 実態把握調査別件数

要介護者・要支援者	66
特定高齢者	3
計	69

(4) 巡回相談状況

事業名	開催日・会場	内容	延べ人数
カフェいっぷく	毎月第3木曜日 桐の花地域交流スペース	ラジオ体操・タオル体操 まんさく珈琲タイム	128人
ほっとほーむ	平成28年7月4日 茂市コミュニティセンター	転倒予防・じゃんけんゲーム	9人
出前講座	平成28年6月17日 和井内ふるさと会館	転倒予防 じゃんけん相撲	9人

(5) 会議等

地域包括支援センターランチ会議	平成28年5月26日、平成29年3月28日
介護予防リーダー研修会	平成28年5月26日、平成28年11月28日

(6) 配食状況

延べ登録者数	述べ配食数
44人	721食